

# MORIOKA YMCA NEWS

## 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもの個性を大切にし、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

## 7月号 サマーキャンプスタート!! ~わんぱくキャンプ~



編集発行人 家村知佳 発行所： 特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1  
TEL 019 (623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

### 仕事

末廣光輝（介護老人保健施設通所勤務、盛岡YMCAリーダーOB）

今年の夏もとても暑いようです。

昨年からののですが、職場で、今年大流行するであろうグリーンカーテンを作っています。他にも、プランターで稲作や野菜作りに挑戦しています。

私の仕事はよく「認知症」の診断を受けた高齢の方々とよく接する仕事をしています。

この認知症というのは、主に記憶力や現在の状況把握機能が障害されることで日常生活が今までどおりに営めなくなることが多いです。進行により、今までできていたことが、やり方を忘れてできなくなったり、家族の顔も忘れて、今いる場所がどこかわからなくなったり。

しかしです。例えば農業をやっていた方の前に土と米の苗を用意すると、こちらが説明する前に、「ほう～、立派な苗っこだな」「なんの品種だ？」と顔を綻ばせておっしゃいます。また、説明も必要なく自然に手が動き、「昔はよく近所の人たちで集まって、手で植えたもんだ」とおっしゃりながら、植え付けをされるのです。「今は機械でやって楽だども、昔は大変だったんだ」と普段、日付を尋ねるとけっこうあやふやな方がおっしゃるのです。「まあ、機械は金がかかるんだどもな。わはは」と皆様

で笑っておられます。

いつもは、日常動作のやり方がわからなくて、一度ご説明しないとなかなか動かさない手も、土や泥にまみれることをいとわず、いつもより力強く土をかましています。

その動きをみていると、これが仕事なのだ、という念をいざくことがあります。何年も何十年も同じことを繰り返しながら、時に試行錯誤して、新しいやり方を取り入れて。それが、とった杵柄となって、忘れることのないものになっているのだと思います。これから私も何年も同じことを繰り返したり、新しいことをしていくこととなるかと思いますが、将来、長く生きて認知症になったときに、仕事は何をしていたのか尋ねられた時に、「介護の仕事だ」「今は制度もよくなって、給料もよくなったけども、昔は安月給でたいへんだったんだ」と未来の同業者に話しをすることができればと思います。

さて、グリーンカーテンは暑い夏の節電にと早く伸びてほしいものです。隣の稲も少しずつですが、背丈を伸ばしています。復興が、できることならば早く、そしてしっかりと稔るように、政府は「仕事」をしてほしいものですし、私もできることを行動していきたいと思います。

# サマーキャンプ第1段！わんぱくキャンプ!!

7月17日（日）・18日（祝・月）に、都南つどいの森でわんぱくキャンプをしてきました。子ども19名にリーダー2名、スタッフ2名の計23名で、アイーナを出発!!  
 いったいどんなキャンプになったのでしょうか？



まずは食材の買い出しへ。朝ごはんのうどん・昼ごはんのおにぎり・夕ごはんのカレーと、3つのグループが分担して材料を買います。何を买おうか相談しながら、スーパーの中を行ったり来たり…。悩みつつも、やっぱり楽しい買い出し♪



お待ちかねのフリータイム!! 青空の下、広場で思い思いに遊びが作られていきました。蟬の抜け殻をとにかくいっぱい集めたり、水鉄砲で水かけをして「涼しー」ってなったり、泥で遊んだり（あれはもはや泥パック?）・・・  
 くったくたになるまで遊んで、ちょっとアイスで一休み。



暗い林の中を、キャンプファイヤーに必要なアイテム（トーチ、灯油、着火マン）を探して歩いていきます。配られたのはそれぞれ違う地図と懐中電灯一つだけ。「怖い!!」と怯える子に「大丈夫」と声をかけながら進んでいく姿は、なんだか頼もしくてカッコいい! 怯えていた子も、勇気を出して一緒に進んで行きました。なかなか見つからないグループを、先に自分たちのアイテムを見つけ終えたグループが助けに行く場面も。みんなで集めたアイテムを使って、キャンプファイヤー!! パチパチ燃える炎を囲み、あの独特の雰囲気の中、歌・猛獣狩り・アブラハムをして盛り上がりました。



いざ夕飯作り。火たきに薪割り、包丁で食材を切る!と、ドキドキが盛り沢山。料理は大好き!火をつけてやるぜ!と意気込む子もいれば、初めての体験にドキドキしたり不安になったりしながらも挑戦してみる子と様々。難しいこともあったけど、みんなおいしいごはんの為に頑張りました。みんなで頑張った出来上がったカレーの味は、やっぱり格別ですね!!斬新にも、おなじみの具材の他にアスパラとトマトが入っていました。何度もおかわりする人もいて、好評でした。



みんなでおにぎり作り。これが今日のお昼ご飯。いろんな具があったらいいなと思ってたくさん具を買ってきたので、いろんな具入り・大きさのおにぎりが出来ました。



自分たちが泊まるテントは自分たちで準備!片づけも「使う前よりきれいに」をモットーに、荷物を運び出して、小っちゃいゴミも見落とすまいと真剣な表情で掃除をしました。いろいろなことにたくさん挑戦した2日間。確かに、1人1人がキャンプ前より成長していると思います。  
 名前の通り、わんぱくなキャンプをみんなと作れたのではないかなと思っています。夏の暑さに負けずに遊びまくって、いろんなことに挑戦したみんなはきっと、前よりたくましくなってるよ!!楽しかったね!!

文責 盛岡大学 社会文化学科3年 高橋みどり (ダダリーダー)

# 盛岡YMCA宮古ボランティアセンター

7月に入り、盛岡YMCA宮古ボランティアセンターの活動は少しずつ変化してきました。これまでは津波が浸水したお家の片づけを中心に、ヘドロの除去などの作業を行ってきました。それに加え7月から避難所や仮設住宅でのたこ焼・焼きそばの炊き出しを行っています。7月中に行った場所は、宮古小学校避難所、赤前小学校仮設住宅、中里団地仮設住宅、宮古教会前、愛宕小学校仮設住宅の6か所です。それぞれの場所でたくさんの方にお越しいただき楽しんでいただきました。人が集まると会話が生まれ、普段なかなかお家から出てこない方も出てきて行列に並びながら会話を楽しんでいます。このように、たこ焼きや焼きそばを通して多くの出会いや関わりを作るお手伝いをさせていただいております。これからも、このような機会を設けながら、楽しく人が集う場を作っていきたいと考えています。(大塚)



## まだまだ終わらない

床をはがしてヘドロの除去を行っています。津波が浸水したお宅では、浸水部分の壁、天井の除去洗浄の作業を行っています。

(7月5日 宮古市街)

## 暑くなってきたからこそ…

草刈りの依頼が増えてきています。こちらは仮設から引越す予定の家。細かい部分は手作業。

(7月4日 中里団地)



## 笑顔集う場所

宮古小学校避難所で行われた炊き出し。本格仕様の鉄板で、味にも自信あり!大勢の人が集まり、たこ焼きを通して多くの会話が生まれています。この時間がとても大切なように思えます。

(7月9日 宮古小学校避難所)



## 頼れる若い力

岩大生のボランティアです。毎週土曜日に来てくださっています。(7月18日 宮古市街)

また、青山大学女子短期大学からもボランティアに来ていただきました。(7月19日～21日)



## 新メンバー加入!

新メンバーとは車のほうです。たちばな建設株式会社、長浜ワイズメンズクラブ、滋賀YMCAのご協力で車をご支援いただきました。今後この車を活用させていただき、さらに活動を展開させていきたいです。

(7月23日 新メンバー、滋賀YMCA、長浜ワイズメンズクラブの方々と記念撮影)



今後、被災地への支援は、長期的に行われていきます。リアス式海岸の入り江ごとに点在する被災地の復興は、今までの震災に比べ、さらなる困難と長期化が予想されます。

盛岡YMCAは、全国のYMCAの支援を受け、長期的な支援を宮古をベースに行っていく予定です。皆様のご協力をお願い申し上げます。

●救援・復興募金は、次のいずれかの方法でご納入いただけます。

① 郵便振替 (同封の払込取扱用紙をご利用下さい。)

口座記号番号 02290-9-54655

※通信欄に 東日本大震災被災地支援募金とご記入下さい。

② 銀行振込み (下記口座にお振込み下さい)

北日本銀行本店 普通預金

口座番号: 7029115

名 義: 盛岡YMCA東日本大震災被災地支援口  
理事長 石渡隆司

感謝  
2011年度 7月31日現在  
順不同・敬称略

●東日本大震災  
被災地支援募金・献品●

伊藤真一郎、勝又文子、花田瞳、佐々木良英、高木雄輝、今松桂子、熊谷太、金田節子、伊藤柊馬、遠藤雅之、小山ミドリ、東澤香織、サイブ千賀、水田賢次、鶴丹谷三千代、澤日美治、遠藤匠、亀澤明、小林茂元、南原良哉、新里ちえ子、北田アユ子、向山力、荒川真輔、伊藤克見、伊藤喜代江、清家千晶、村山翔野、長岡正彦、大関靖二、東透、松尾俊介、斉藤稜太、阿部雄偉、長澤博貢、鈴木淑久、古澤陽生、吉田光希、末廣光揮、宮本一恵、小笠原誠、岩崎スエ、東澤香織、森山日菜乃、森山幹太、寺田京太郎、寺田敏子、北川けい造、菅恵、カトウアキコ、インダソウ、鈴木聖流、阿部実結、高谷厚子、佐藤江利子、榎林巧、千葉代子、西本作、工藤直子、三上隆生、布川雅樹、金野東輝子、堀田順子、栄角美和、八幡浜教、工藤永子、菊池崇江、太田路子、東澤香織、荒川真輔、サイトウリョウタ、ナガイヒロアキ、山崎詩織、芦屋ワイズメンズクラブ、JCCNC、聖光学院、千葉明德短期大学、長浜ワイズメンズクラブ、たちばな建設株式会社、滋賀YMCA、ワイズメンズクラブ東日本区

情報コーナー

8月の予定

- ★8月7日～10日  
サッカーキャンプ  
(於：いこいの村岩手)
- ★8月8日～8月11日  
サマースクール③  
(於：前潟センター)
- ★8月8日～8月10日

- 湖畔のキャンプ  
(於：秋田県仙北市  
思い出の潟分校)
- ★8月28日(日)  
アドベンチャー8月活動  
「小川で遊ぼう！」  
矢巾町立自然公園

9月の予定

- ★9月23日～9月24日  
アドベンチャー9月活動  
「秋を満喫しよう」  
(於：秋田県仙北市  
思い出の潟分校)

YMCA通常プログラム【2期開始日】

- ☆8月18日(木) 松園サッカー
- ☆8月19日(金) 篠木サッカー
- ☆8月19日(金) 中学3年英語

- ☆8月20日(土) 本町サッカー
- ☆8月22日(月) 土淵サッカー
- ☆8月22日(月) 中学生準備英語

- ☆8月23日(火) 盛南サッカー
- ☆8月23日(火) 水泳火曜コース
- ☆8月23日(火) 中学1年英語
- ☆8月24日(水) 水泳水曜コース

6月アドベンチャークラブ活動「テントに泊まろう！」

6月のアドベンチャーは1泊のキャンプ!!25日～26日に八幡平県民の森へ行ってきました。今回の参加メンバーは中学生～年長さんが揃い、幅広い年齢層でした。子どもたちの間では上の子が下の子の面倒を見てあげたりする場面が多くあり、普段あまり関わることのない学年と過ごすのはとても新鮮だったのではないのでしょうか。唯一の中学生の子も「お兄ちゃん」と呼ばれて親しまれていました。

そして、これまで天気恵まれなかったアドベンチャーにも今回やっと太陽が顔を出してくれました。おかげで、2日間を通して野球、サッカー、陣取り、キックベース、水鉄砲、虫取りなどたくさん遊ぶことができました。また、テントの組み立てや片づけ、料理なども自分たちで行い、子どもたちが協力しながら作り上げたキャンプになったと思います。



(家村)

こほれ種⑨ 「言葉・その命と限界と」

日本基督教団内丸教会牧師 (元日本YMCA同盟 主事)  
中原真澄



震災後初めてのスタッフ研修が7月半ば、YMCA事務所がありました。被災者支援活動を行って来て何を感じ・考えたか、一人ひとりに語っていただきました。まだ被災地に行っていないスタッフもいましたが、誰もが各自の持ち場で、被災地や被災された方々を覚えつつ力を合わせてきたことを端々から感じ、YMCAで働くスタッフの心映えに爽やかな風を感じました。

印象深かったのは、被災地で見・考えさせられたことは、実は、日常にも存在する事だった・・・という感想でした。実際、今の私たちの普段の暮らしは極力、例えば「死」遠ざけてきました。でもそれは本当は、日常に付きまとっているはずのもので、それをどう受け止めていくか、私たちはしっかり考えなければならない事だった・・・。「運命」や「不条理」と呼ぶしかないような体験・世界の出来事も、私たちは視野から追い払い、考えずに済ませてきました。でも、そんな様々な事柄が震災によって否応なく、私たちの視野の内・心の中に割って入ってきてしまった・・・それがこの数ヶ月の体験だった・・・。これからのYMCAは、そうした事柄を子どもや会員の方達と一緒に担い、共に考えていく・・・それが大切なのではないか・・・と。

私が牧師をしている内丸教会も、会員のお一人が今なお行方不明です。毎週、家ごと流された場所に通い、何か手掛かりを・・・と探し続けておられたご父君を思うと、人の言葉は失われます。それでも私たちは、心に寄り添い、祈りに覚え、記憶し続けることはできるのではないのでしょうか。そこから紡ぎ出される僅かな言葉をもって、共に生き・考えていくことが大切なのだと思います。そんな願いをひめて活動する中で、これからの子どもが根ざし育つ言葉＝生き方が共に与えられていくのでしょう・・・夏のプログラムがその一歩になっていくことを願いつつ・・・。

人はパンだけで生きるのではなく、人は主の口から出るすべての言葉によって生きる・・・(申命記8章3節)

わんぱくキャンプ



2日間とも良すぎるほどの快晴☀️しかし、ジリジリ照りつける太陽になんか負けない子どもたち。こんな暑い日は水を浴びてしまおう!!と、さっそく水鉄砲を持ち出し、銃撃戦です。もちろん、リーダーには容赦ない攻撃!でも、バケツで水をかけようとして自分で浴びてしまったり…。しかし、濡れてもむしろ「気持ちいい～」といった様子。広場中を走り回って、くたくたになるほど遊んだフリータイムでした。

ほかにも、虫取りに熱中する子や泥遊びをする子など、様々な遊びが繰り広げられていました。

\*\*\*8月号も夏のキャンプを盛りだくさんでお送りします\*\*\*